

★ポルトガル語のペア発表について

- ① 黒字と青字それぞれ担当を決める。
- ② 最後の詩句(緑字)は一緒に言う。
- ③ タイトルと作者は一人または二人で言う。

“Ditados Populares”
César Obeid

Quando eu brinco com palavras
Com cordel, literatura
Dos ditados populares
Eu tenho desenvoltura
Água mole em pedra dura
Tanto bate até que fura.

Pra dizer outro ditado
Juro que eu não escapo
Nesse verso brincalhão
Não permito nenhum trapo
Brincando de grão em grão
A galinha enche o papo.

Esse dito, meus ouvintes
Vai falar de amizade
Que rima, mas não combina
Com a dura falsidade
Porque *quem semeia os ventos*
Sempre colhe tempestade.

Como é bom ouvir agora
Da plateia essas respostas
Do universo do cordel
Sempre faço mil apostas
Em rio onde tem piranha
Jacaré nada de costas.

「ことわざ」
セザル・オベイジ

ことわざの文学
コルデルの
言葉で遊ぶと
私は機転が利きます
軟らかい水でも硬い石に何度も当たれば
ついには穴をあける

別の言い方をしましょう
私は逃げないと誓います
遊び心のある一節で
どんな妥協も許しません
一粒一粒ついでめば
雌鶏は頬を一杯にする

聴衆の皆さん、この格言は
友情のことを言っています
韻を踏みますが
虚偽とは調和しません
風を蒔く者は
いつも嵐を収穫するからです

平土間の皆さんからこうした反応を
ここで聞くのはなんて良いのでしょうか
コルデルの世界から
私はいつも 1000 の賭けをします
ピラニアのいる川では
ワニは仰向けで泳ぐ

E vocês, caros ouvintes
Lembram-se de outro ditado?

Então o coloquem em verso
Mas que seja bem rimado.

Sejam brincalhões também
Desse cordel encantado.

親愛なる聴衆の皆さん
何かことわざを覚えていますか？

それでは、何か一節言ってみてください
韻を踏んでいないとだめですよ

そして遊び心がなくてはだめです
魔法にかかったコルデルですから



In: César Obeid, *Minhas Rimas de Cordel* (2013)
(訳文: 江口佳子)

(解説) セザル・オベイジ(1974～、サンパウロ)はコルデルの詩人です。コルデルは、民衆文学の一つのジャンルで、ブラジル北東部が起源です。“細紐”という意味で、露店で紐にぶら下げて売られていることが名称の由来です。詩人オベイジは、課題詩が収められている本の中で、「コルデルとは口承詩であり、口述され、話され、語られるために作られる。[...]ブラジルには、優れた即興詩人が全国にいる」と述べています。課題詩はブラジルのことわざが題材です。ブラジルの要素がありますね。同じ意味を持つ日本のことわざは何でしょう？